

令和4年度日高高等学校中津分校 第1回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和4年6月21日（火）16時30分～

2 場 所 日高高等学校中津分校 多目的教室

3 次 第

○ 開会

○ 学校長挨拶

コロナ禍のなかで学校がスタートしたが、分校ならではの取り組み、総合的な探求の時間での昨年度から続いているコーヒー豆の販売や今年度は、新たにさつまいもの栽培など、地域と連携し特色ある学校作りを目指している。県立学校再編整備も気になる状況ですが、分校の良さを引き出すためにも地域連携が不可欠であり、学校運営協議会のご協力をお願いしたい。

○ 学校運営協議会設立

各位委員に任命書を配布する

○ 会長選任

山下 泰三 様

会長挨拶

コロナ禍の中での学校のスタートとなっているが、日頃から地方紙等で、分校の取り組みを見て、嬉しい気持ちになっている。再編整備の県の方針も示されているが、地域に密着した学校であり、特色ある学校作りを実践して欲しい。生徒の大多数が野球部員であり、選手権大会で頑張って地域を盛り上げて欲しい。

○ 学校運営方針について（学校長より）

今年度から県立学校では、スクールポリシーを作成し公表している。学校評価シートは、スクールポリシーを参考にして、目指す学校像・育てたい生徒像を掲げている。4つの重点目標を中心に学校運営を進めていきたい。本校は、野球部に所属している生徒が多いが、地域連携・地域社会に貢献できるような人材を育成するためにも教員の資質向上にも努めたい。人間教育に重点を置きながら、生徒の進路実現、将来像を持たせたい。

（承認される）

○ 分校状況報告

総合的な探求（コーヒー豆の販売・サツマイモ栽培・大学見学等）の説明。令和3年度卒業生の進路状況。1学期の学校行事について説明を行う。

○ 協議

- ・ コロナ禍の状況を見ながら、交流センターとも連携したい。
- ・ 中津地区に、高等学校があり特別な感じがある。1年生が11名であり生徒数の減少、バランスが気になる。野球を活かした学校作りに取り組んで欲しい。地域も積極的に学校と今まで通り連携を深めたい。
- ・ 分校新入生の中には、中津小学校出身の生徒が4名おり、野球部に入学している。4名は、小学校の時に中津分校と野球を通じて交流があり、あこがれがあったと思う。地域に根ざした地域に戻ってくる生徒を育成して欲しい。
- ・ 他地域から中津に移住して10年以上になるが、野球の練習試合などで休日の往来が多くなり活気が出ている。
- ・ 生徒数が減少する中で、過半数が野球部員であるが、再編整備も踏まえて、野球部以外の生徒も入学するような取り組みも大事である。
- ・ 新聞等で分校生の取り組みを見ているが、独自のアピールができていように思う。
- ・ 中津の高校生として、県外から訪れた学生と交流を深めるのも良いと思う。
- ・ 今年度は新入生が11名で、今後、入学生数の減少が続くと大変なことになりかねないと思う。野球を中心として伝統を守りつつ、授業や総合的な探究の時間、野球部活動を関連づける意識を教職員が持って欲しい。教科書をベースにして、野球が授業や総探につながるカリキュラムを研究することが、将来的に野球を目指さない生徒の育成につながると思う。

○ 閉会

－ 資料 －

- 「令和3年度学校評価シート」
- 「令和4年度学校評価シート」
- スクールポリシー（中津分校）
- 学校要覧 学校案内
- 1学期行事計画

- 進路状況（過去5年）
- 新聞等スクラップ
- きのくにコミュニティスクール～さらなるステップアップのために～
高校編 和歌山教育委員会

【学校運営協議会委員】

井原 英作（日高川交流センター センター長）
楠本 勝洋（日高川町立中津中学校校長）
芝 充彦（保護者代表）
丸山 範高（和歌山大学教育学部教授）
的場 義文（日高川町立中津小学校校長）
山下 泰三（日高高等学校中津分校同窓会会長）
大和 弓子（地域代表）
山本 直樹（日高高等学校中津分校校長）

（敬称略）